

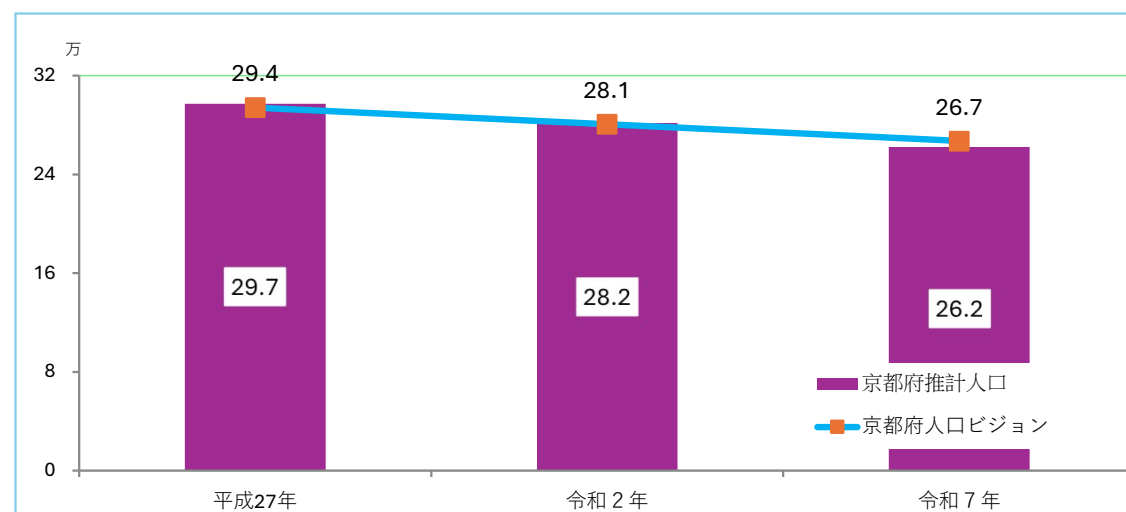
各地域の状況 北部

参考資料 1

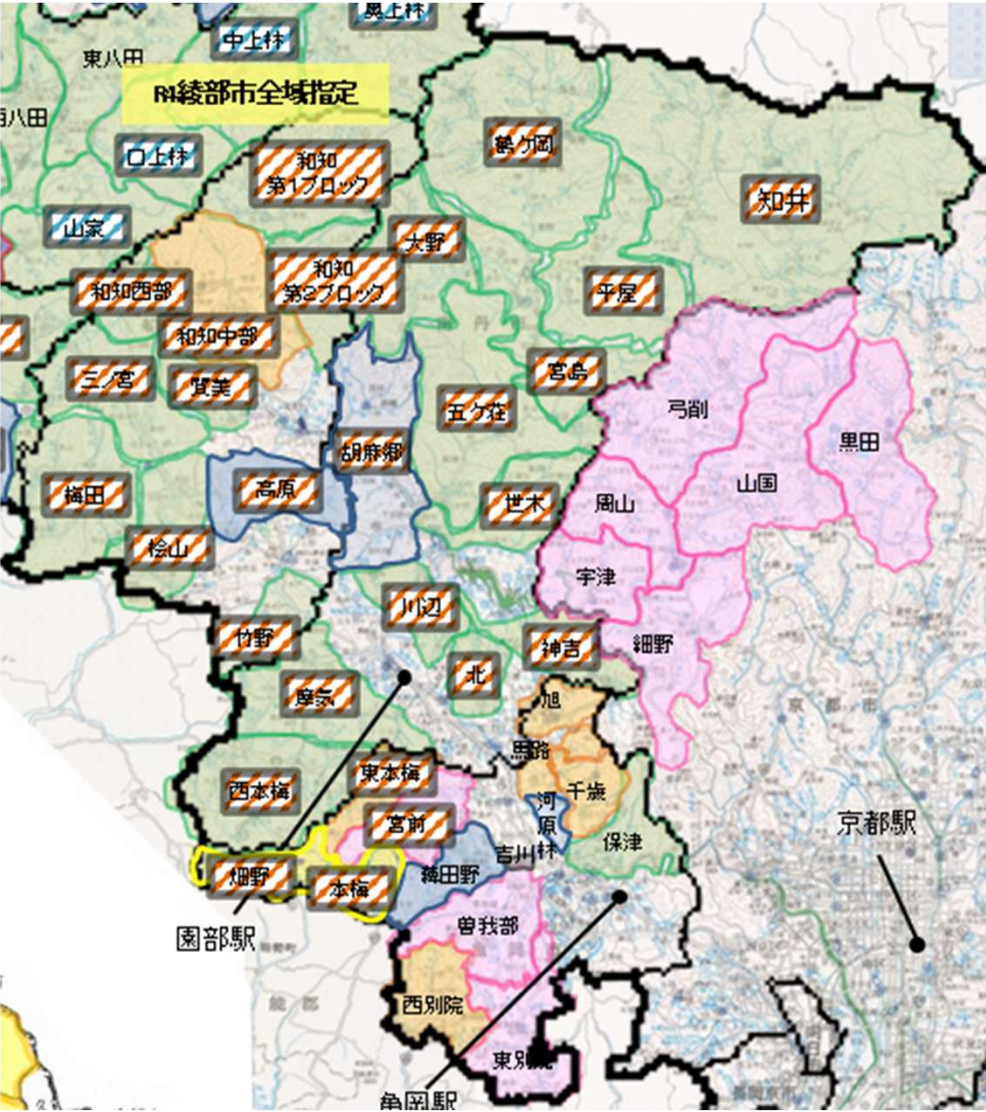
人口動態

地域／市町村	平成27年	平成27年→令和7年 人口動態					令和7年
	人口	人口増減率	自然増減率	社会増減率	自然増減数	社会増減数	人口
	人	%	%	%	人	人	人
北部	306,720	-12.6%	-7.8%	-4.8%	-23,823	-14,692	268,205
宮津市	19,452	-13%	-14%	-14%	-2,627	-859	15,966
京丹後市	58,514	-14%	-10%	-5%	-5,591	-2,881	50,042
伊根町	2,339	-20%	-16%	-5%	-371	-107	1,861
与謝野町	23,318	-17%	-10%	-7%	-2,252	-1,664	19,402
福知山市	80,682	-8%	-5%	-3%	-3,886	-2,256	74,540
舞鶴市	86,996	-13%	-6%	-7%	-5,336	-6,338	75,322
綾部市	35,419	-12%	-11%	-2%	-3,760	-587	31,072

人口推移



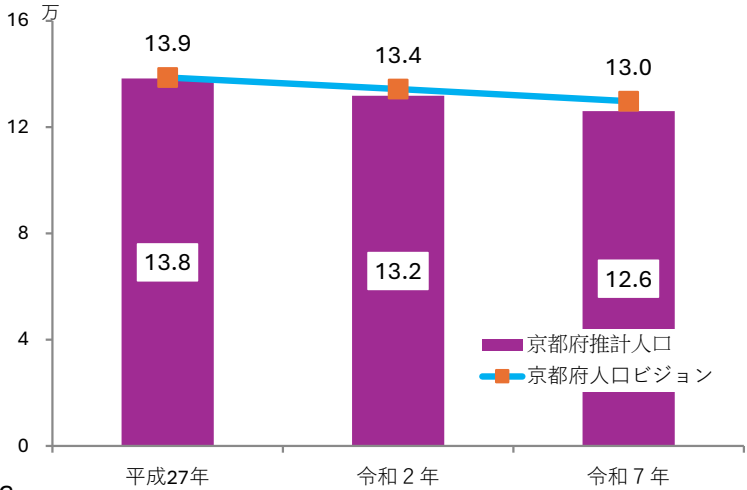
各地域の状況 中部



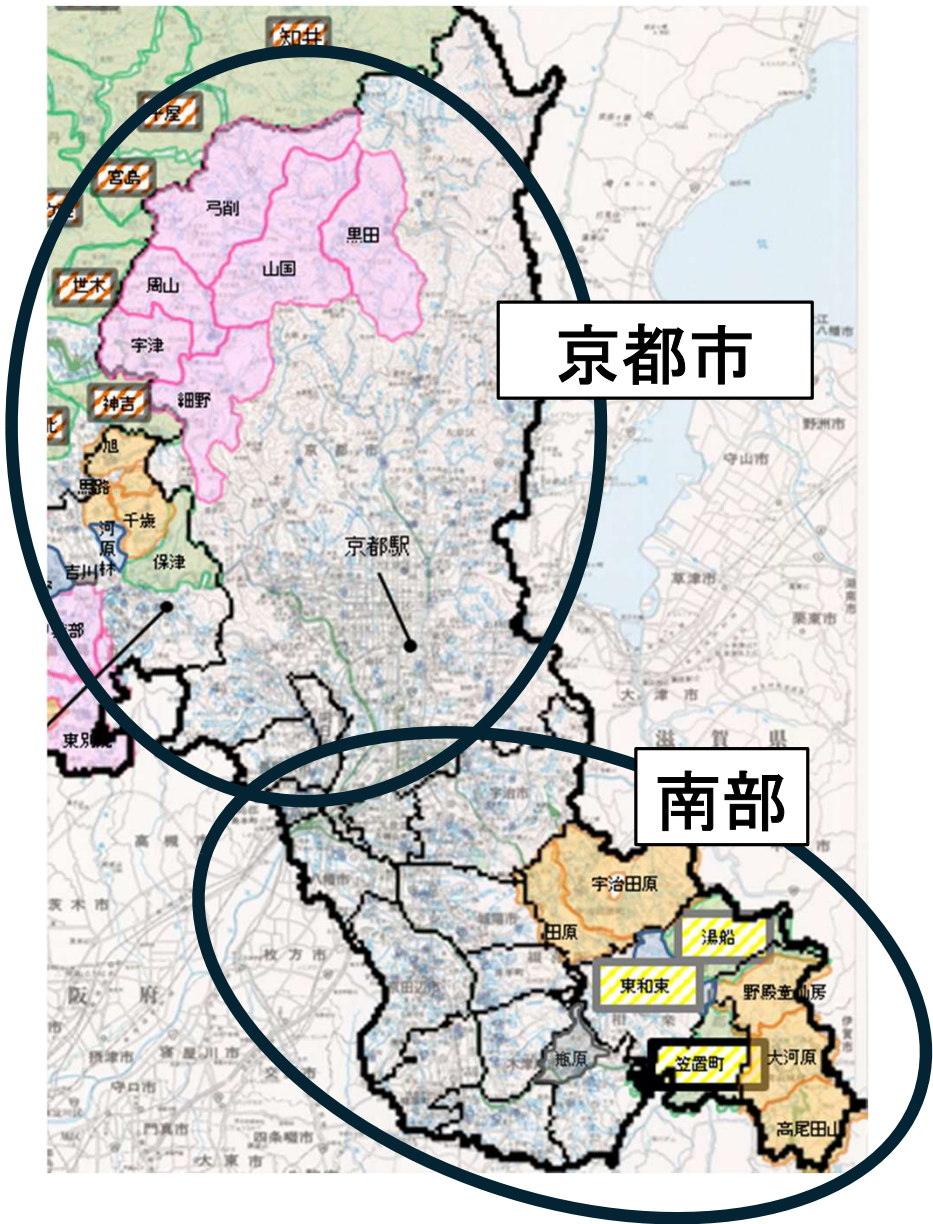
人口動態

地域／市町村	平成27年	平成27年→令和7年 人口動態					令和7年
	人口	人口増減率	自然増減率	社会増減率	自然増減数	社会増減数	人口
	人	%	%	%	人	人	人
中部	140,521	-8.8%	-6.6%	-2.2%	-9,317	-3,080	128,124
亀岡市	91,548	-17.9%	-4.1%	-1.7%	-3,751	-1,588	86,209
南丹市	33,418	-11.6%	-10.3%	-1.4%	-3,429	-458	29,531
京丹波町	15,555	-20.4%	-13.7%	-6.6%	-2,137	-1,034	12,384

人口推移



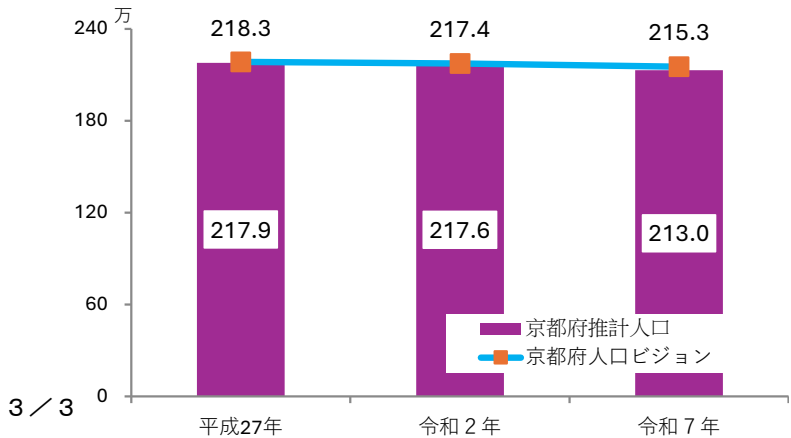
各地域の状況 京都市・南部



人口動態

地域／市町村	平成27年	平成27年→令和7年 人口動態					令和7年
	人口	人口増減率	自然増減率	社会増減率	自然増減数	社会増減数	人口
	人	%	%	%	人	人	人
京都市	2,132,064	-2.6%	-3.9%	1.2%	-82,099	25,719	2,075,684
宇治市	1,419,474	-17.9%	-4.3%	1.1%	-61,383	15,796	1,373,887
城陽市	190,856	-5.9%	-3.9%	-2.0%	-7,448	-3,826	179,582
八幡市	78,560	-6.7%	-4.9%	-1.7%	-3,879	-1,360	73,321
京田辺市	73,038	-6.1%	-4.5%	-1.6%	-3,273	-1,167	68,598
京田辺市	66,697	8.0%	-1.0%	9.0%	-673	5,987	72,011
木津川市	73,095	8.5%	-0.2%	8.7%	-117	6,361	79,339
久御山町	16,390	-7.1%	-4.5%	-2.6%	-731	-428	15,231
井手町	7,899	-11.9%	-8.3%	-3.6%	-659	-282	6,958
宇治田原町	9,735	-10.8%	-6.4%	-4.4%	-619	-428	8,688
笠置町	1,529	-30.3%	-19.0%	-11.3%	-290	-173	1,066
和束町	4,357	-22.5%	-13.0%	-9.5%	-568	-412	3,377
精華町	37,443	-3.3%	-1.6%	-1.7%	-599	-634	36,210
南山城村	2,961	-19.7%	-13.1%	-6.5%	-389	-193	2,379
向日市	54,340	3.4%	-1.4%	4.8%	-751	2,597	56,186
長岡京市	80,222	2.5%	-1.1%	3.6%	-912	2,908	82,218
大山崎町	15,468	7.5%	1.2%	6.3%	192	973	16,633

人口推移



丹後地域（4市町）

参考資料2

京丹後市

- ・ JAL
- ・ 日本旅行

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	18名	(H22～) 101名
地域活性化企業人	2名	(R4～) 9名

伊根町

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	0名	(H22～) 13名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 1名

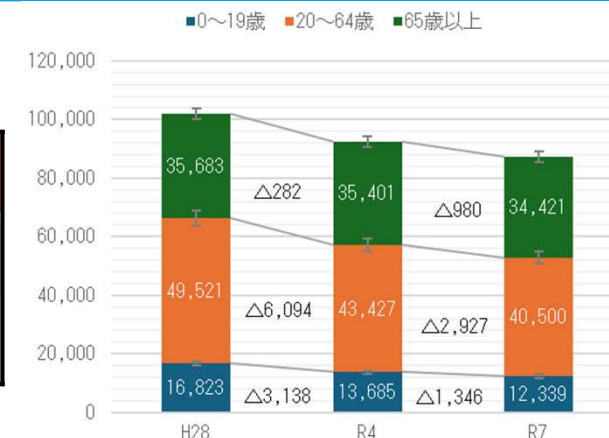
宮津市

- ・ 東部トップツアー
- ・ JTB など

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	2名	(H22～) 60名
地域活性化企業人	4名	(R4～) 6名

与謝野町

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	1名	(H22～) 20名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名



移住特区

京丹後市の中心部（旧大宮町・峰山町域）を除き、ほぼ全域指定

特徴・課題

- ・ 自然が豊かな環境、観光コンテンツ等が豊富
- ・ 就職・進学を機に若者が都市部へ流出
- 観光サービス業への求人倍率が高い
- 他地域に比べて第一次産業従事者割合が高いが、担い手不足が深刻

丹後局

地域の若者のネットワークづくりに取り組む

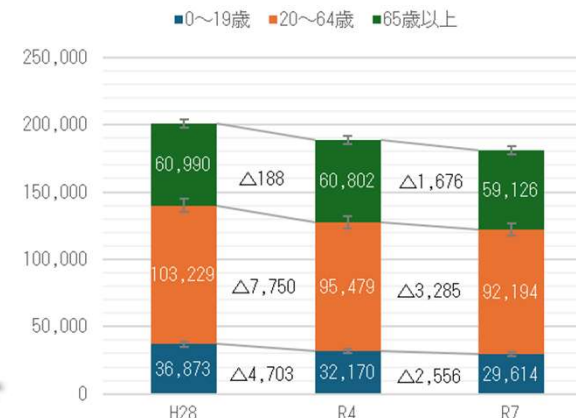
中丹地域（3市）

福知山市

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	4名	(H22～) 24名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 4名

中丹局

福知山公立大学と連携したUIターンの促進・効果検証、空家の掘り起こし等に取り組む



舞鶴市

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	2名	(H22～) 12名
地域活性化企業人	4名	(R4～) 5名

・パナソニックITS
・KDDI など

移住特区

福知山市・舞鶴市の市街地を除き、ほぼ全域指定

綾部町

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	3名	(H22～) 18名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名

特徴・課題

- 市街地は、交通・買物等の利便性が高い
- 大規模工業団地が立地
- 就職・進学を機に若者が都市部へ流出
- まちなか地区の移住者の把握が困難
- 工業団地企業の担い手が不足

南丹地域（3市町）

亀岡市

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	0名	(H22～) 0名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名

南丹市

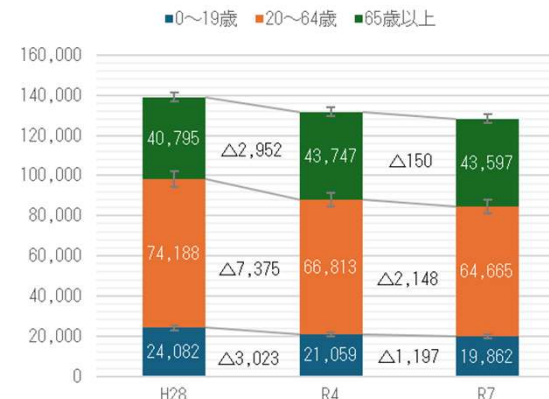
外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	5名	(H22～) 75名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名

南丹局

農業インターン・都市山村
交流等に取り組む

京丹波町

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	6名	(H22～) 41名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名



移住特区

JR山陰本線沿いを除き、概ね指定（亀岡市・南丹市の市街地周辺は特区外）

特徴・課題

- JR山陰本線沿いは京都市のベッドタウンとして発展
- 北側は里地里山が広がり、第1次産業が盛ん
- 特にJR山陰本線沿いは移住者把握が困難
※移住という認識なし

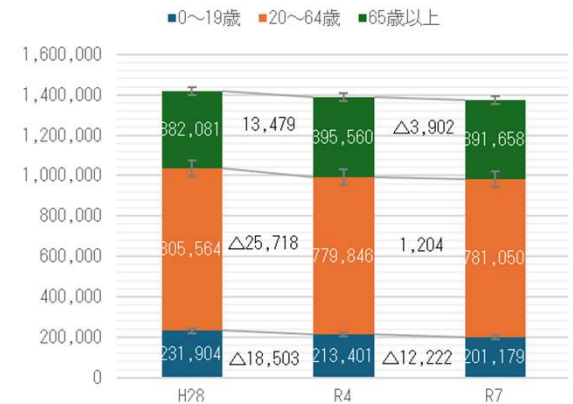
京 都 市

京都市

- ・ 企業誘致
- ・ スタートアップ支援など

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	2名	(H22～) 19名
地域活性化企業人	2名	(R4～) 4名

市内の土地価格の高騰・他市町村の行政サービスの充実により、大学卒業・就職、結婚を機に市外へ移住する若者が大多数



移住特区

旧京北町の一部エリアのみ指定

特徴・課題

- ・ 全国トップクラスの大学数を誇り、多くの学生が流入
- ・ 旧京北町の過疎化が進行
- 旧京北町では空家の掘り起こしが困難（近隣住民の目を気にする）

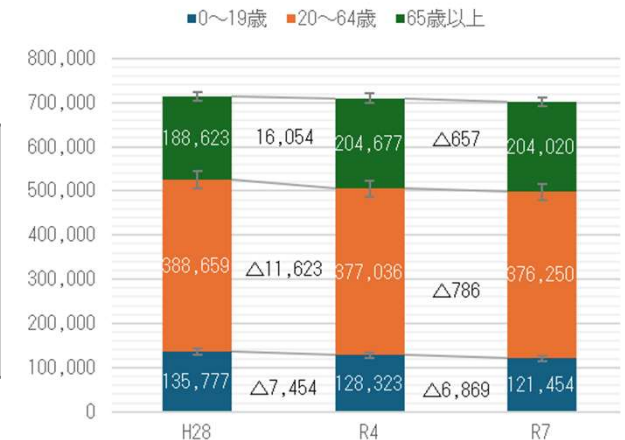
山城地域（15市町）

宇治田原町

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	2名	(H22～) 16名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名

木津川市

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	2名	(H22～) 2名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名



移住特区

鉄道沿線を外れた東部地域に移住特区が集中（相模東部以北・以西は市街地が広がる）

特徴・課題

- 大阪府・京都市への近郊エリアとして全体的に市街化
- 暮らしの利便性の高さにより多数の移住者がいる想定
- 多くの市町村が移住者の把握に消極的のため、移住者の把握が困難

移住施策に取り組んでいない市町村が大多数



相模東部地域のみ次ページに抽出

相 楽 東 部 地 域 （ 3 町 村 ）

笠置町

- ・ 京都信用金庫
- ・ まちおこし会社系 など

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	0名	(H22～) 13名
地域活性化企業人	7名	(R4～) 14名

和束町

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	0名	(H22～) 23名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名

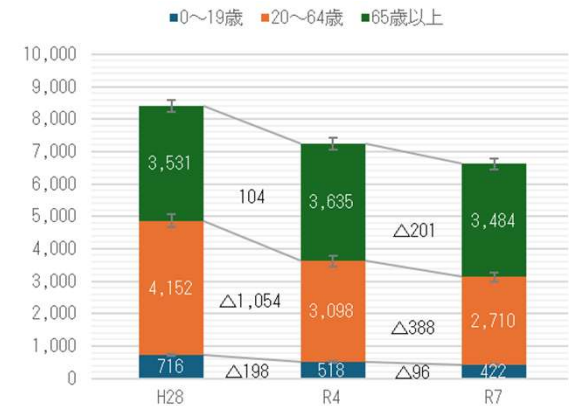
南山城村

外部人材	R7	累計
地域おこし協力隊	1名	(H22～) 16名
地域活性化企業人	0名	(R4～) 0名



山城局

相楽東部未来づくりセンターを設置し、教育旅行の受入など関係人口創出に取り組む



移住特区

和束町の一部（中央・西部）を除き全域指定

特徴・課題

- ・ お茶の生産地、飛鳥時代の寺社仏閣など古都に関連するコンテンツが豊富
 - ・ 急激な過疎化が進行（隣接する木津川市への流入が多い）
- 空家も含め移住者を受け入れる環境が乏しい